

平成 29 年 3 月 6 日

6 次産業化ネットワーク活動交付金 (推進事業のうち地域タイプ) 実施計画書

岩手県知事 達 増 拓 也 殿

事業実施主体名 遠野市六次産業化・地産地消推進協議会
代表者名 会長 古 川 憲

6 次産業化ネットワーク活動交付金実施要綱 (平成 25 年 5 月 16 日付け 25 食産第 599 号農林水産事務次官依命通知) 第 5 の 1 に基づき、事業実施計画を提出します。

本事業実施に関する情報の取扱いについての同意の確認

以下について、「同意します」又は「同意しません」のいずれかに○をつけてください。

市区町村の長に提出した事業実施計画、事業実施状況の報告書及び成果目標の達成状況の評価の報告書に記載した情報について、地方農政局長等が、都道府県知事と共有することに、 同意します。

同意しません。

※個人情報の取扱い

地方農政局長等は、6 次産業化ネットワーク活動交付金の実施に関して得た個人情報について、「個人情報の保護に関する法律 (平成 15 年法律第 57 号)」及び関係法令に基づき、適正に管理します。

(1) 事業の目的及び効果

① 事業の目的

遠野の有する豊かな地域資源を活用した六次産業化・地産地消等の事業活動を促進するため、農林水産業及び商工業を支援する関係機関・団体が有機的に連携し、魅力ある新商品・新サービスの開発・販売等の事業活動を支援することにより、地域活性化に寄与する。

② 事業の効果（価値連鎖・付加価値の拡大）

市村合併により、遠野の新たな特産となった“わさび”の付加価値拡大

わさび生産者と遠野ふるさと公社との新たな連携のもと、わさびを活用した新しい商品開発により、わさびの付加価値の拡大を図る。

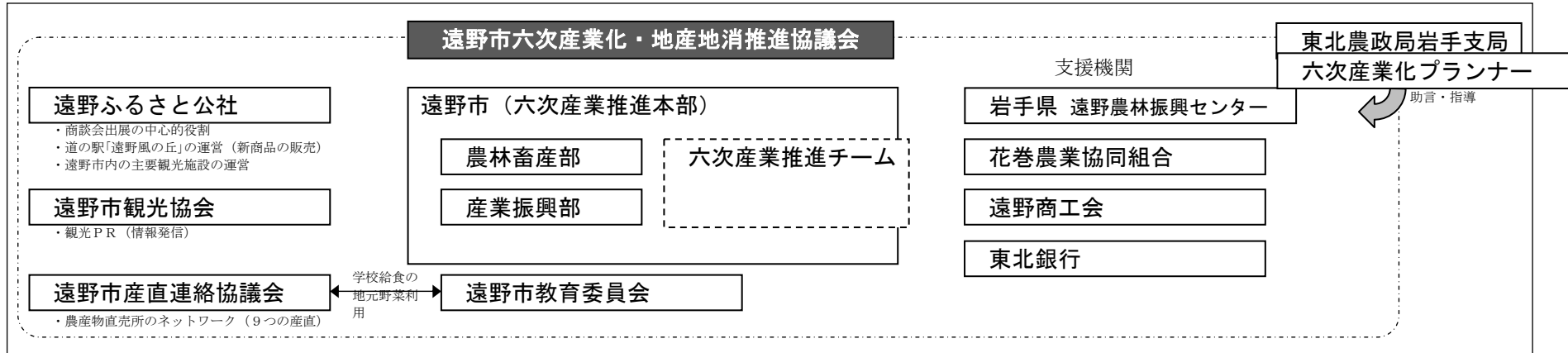
どぶろく特区の販路拡大による米の付加価値と遠野の知名度向上

条件不利で良食味米が生産できない上、米価下落を受けてもなお、どぶろく製造による米の付加価値向上を確保が図られる。

また、『遠野物語』に代表される日本の農村文化の一端を感じてもらおう商品として、どぶろくを提案し、遠野の知名度向上も併せて図る。

注：別紙を添付してもよいです。

(2) 事業実施主体の組織体系図



(3) 事業実施主体の概要及び添付資料

① 事業実施主体の概要

ア 名称

遠野市六次産業化・地産地消推進協議会

イ 主たる事務所の所在地

岩手県遠野市六日町1-2-2 遠野地区合同庁舎3階 遠野市農林畜産部農家支援室内

ウ 代表者名

会長 古川 憲 (遠野市六次産業推進本部 本部長)

エ 構成員数

11団体

オ 従業員数

カ 設立年月日

平成27年8月6日

キ 所有施設の概要

該当なし

ク 構築するネットワークの名称

遠野スタイル六次産業化推進ネットワーク

ケ 構築するネットワークの概要

遠野市内で生産される農産物等を活用した新商品の開発を行うほか、『遠野物語』に代表される観光客の誘客を連動させながら、交流市町村をはじめ都市部に対する地域特産品の販路拡大を図るための、農業者と商工業者によるゆるやかなネットワーク。

遠野市六次産業化・地産地消推進協議会の構成員としては、遠野市、遠野ふるさと公社、遠野市観光協会が参画。

このほか、わさび生産者で組織する遠野わさび生産者協議会などが参画。

② 添付書類

ア 事業実施主体の概況

平成 27 年 8 月に 6 次産業化ネットワーク活動交付金支援体制整備事業の支援を受けて、遠野市内の支援機関等で構成する「遠野市六次産業化・地産地消推進協議会」を設置した。平成 27 年度は、『遠野市六次産業化・地産地消推進戦略』の検討を行い、平成 28 年 2 月 24 日に市町村戦略を策定した。

(ア) 定款又はこれに準ずる規約

遠野市六次産業化・地産地消推進協議会規約を添付

(イ) 役員等名簿

遠野市六次産業化・地産地消推進協議会構成団体の名簿を添付

(ウ) 事業計画、収支予算書及び収支決算書等

該当なし

イ 6 次産業化を推進するための市区町村の戦略の内容を確認できる資料

遠野市六次産業化・地産地消推進戦略を添付

ウ 認定総合化事業計画

該当なし

エ 認定農商工等連携事業計画

該当なし

オ 「地産地消促進計画」の内容を確認できる資料

遠野市農林水産振興ビジョン

カ 「人・農地プラン」の内容を確認できる資料

該当なし

キ HACCP（高度化基盤整備を含む）の取組を確認できる資料

該当なし

- ク 和食などを軸とする観光・食文化政策の展開に資する取組であることを確認できる資料
遠野ふるさと公社が運営する観光施設のパンフレット及び同公社が生産・加工する商品のパンフレットを添付
- ケ その他事業承認者が特に必要と認める書類

注1：申請に際し必要な書類を添付して下さい。

注2：別紙様式第2号の2の(1)から(3)、(5)の項目は各メニュー共通とし、(4)の項目については、本要綱別記2-2の第1の取組に応じて、様式の必要箇所のみを提出します。

(4) 事業目標及び事業内容等

① (省略)

② 新商品開発、消費者評価会の実施及び販路開拓の実施

ア 事業目標

(計画名)

遠野の特産品と観光資源を組み合わせた新商品開発と販路開拓

(本事業着手に至る経緯)

平成 15 年に遠野市は構造改革特区の認定を受けて、国内で初めて濁酒製造事業の実施に着手した。

その後、市内で濁酒製造事業の事業者が 4 者まで拡がり、“どぶろく”は、遠野市における重要な観光資源となっている。

また、平成 17 年には旧遠野市と旧宮守村が合併し、新たに遠野市が誕生した。

旧宮守村は、東北で有数のわさびの産地であり、特産品としても知られている。

合併から 10 年が経過したが「どぶろく」、「わさび」など地域産品や、語り部が話す民話、『遠野物語』に代表されるふるさと感など、遠野市の有する食文化と農産物、これに観光を織り交ぜた新商品開発と観光 P R につなげたい。

(事業目標)

・わさびを活用した新商品（ディップソース）の開発

ディップソースは、国内ではあまり流通しておらず、特に国産わさびは産地が限られるため、遠野の特徴的な新商品になり得る。

また、平成 29 年には全国わさび生産者大会が遠野市を会場に開催されるため、情報発信の好機となる。

[成果目標] 売上高 平成 26 年度 0 万円 → 平成 28 年度 50 万円

・どぶろくの販路拡大

どぶろくは、平成 27 年度に県の支援を受けてパッケージデザインを改良した。


平成 28 年度は、観光 P R と併せて、商談会や展示会等に積極的に出展し、販路拡大につなげたい。

[成果目標] 売上高 平成 26 年度 700 万円 → 平成 28 年度 1,000 万円

注 1：複数年度にわたる事業計画については、新商品開発・商品化・販路開拓に取り組む計画として、事業計画全体の事業目標を記入します。

注 2：事業目標には、開発する商品の具体的な特徴（開発する商品の新規性、活用する国産農林水産物又は製造工程の先進性や独自性等）、販路開拓の戦略、本事業による取組内容等を記入の上、達成すべき成果（商品化による効果（売上高等））を明記します。

イ 事業全体計画

事業計画期間（事業計画全体の期間を記入）		
開始年月：平成 28 年 4 月 終了年月：平成 29 年 2 月		
事業概要		
	計 画	実 績
平成 28 年度	<p>1 商品開発 遠野の特産であるわさびを活用した新商品を開発する。 わさびのディップソース</p> <p>2 販路開拓の実施 遠野市内及び首都圏での消費者評価の実施を行うほか、首都圏及び中京圏の友好市町村との連携を通じて、消費者が集まる行事に出展し、消費者評価の実施を行う。 また、わさびのディップソース及び遠野のどぶろくを、商談会等を通じて販路開拓を行う。</p>	<p>1 商品開発 遠野の特産であるわさびを活用した新商品を開発した。 わさびのディップソース</p>  <p>(1) 経過 平成 28 年 7 月 商品の試作（試供用 100 個製造） 9 月 商品の改良検討 10 月 商品の改良（試供用 400 個製造） 11 月 商品の製造発注（初回 500 個） 12 月 販売開始</p> <p>(2) 販売箇所 ①遠野市内 4 箇所 道の駅遠野風の丘、遠野ふるさと村、 伝承園、たかむろ水光園 ②遠野市外 1 箇所 イオン盛岡南店 結いの市</p> <p>(3) 商品概要 半固体ドレッシング 120g 入り 800 円/個</p>

(4) 販売実績 (12月～2月 3ヶ月間)
累計 200個

2 販路開拓の実施

(1) 消費者評価会の実施

①遠野市民を対象とした評価会

ア 実施日及び会場

10月8日～9日 遠野市産業まつり

イ 評価実施方法

来場者に試食してもらい感想を聴き取り

ウ 評価結果

味覚に関しては、総じて好評価

価格に関しては、高いという意見が多数

手に取りやすさは、評価が分かれた。

その他、瓶以外のパッケージがいいとの意見あり。

また、浸す方法ではなく、かけて食べる方法を好む方もいた。

②市外の消費者を対象とした評価会

ア 実施日及び会場

(首都圏)

9月30日～10月16日 横浜オクトーバーフェスタ

11月13日 むさしの青空市

(中京圏)

10月29日～30日 大府市産業文化まつり

イ 評価実施方法

来場者に試食してもらい感想を聴き取りを行う。

ウ 評価結果

味覚に関しては、好評価多数

価格に関しては、高いという意見が多数

その他、業務用を希望する意見あり。

(2) 商談会への出展

①国内販売

ア いわて食の大商談会

- ・開催日（会場） 8月24日（盛岡）
- ・実施内容 新商品わさびディップソースの試食用サンプルを100個用意し、バイヤーに提供。また、どぶろくも試飲用を用意。
- ・実施成果 ディップソース 多くのバイヤーに試食頂いたほか、見積依頼が2件あった。
どぶろく 多くのバイヤーに試飲頂いたほか、見積依頼が2件あった。
- ・その他 わさびの味が薄いとの意見あり。

イ いわて食の大商談会 in 東京

- ・開催日（会場） 11月2日（東京）
- ・実施内容 新商品わさびディップソースの試食用サンプルを70個用意し、バイヤーに提供。また、どぶろくも試飲用を用意。
- ・実施成果 ディップソース 多くのバイヤーに試食頂いたほか、見積依頼が2件あった。
どぶろく 多くのバイヤーに試飲頂いた。

ウ いわて食の大商談会 in 仙台

- ・開催日（会場） 2月1日（仙台）
- ・実施内容 新商品わさびディップソースの試食用サンプルを70個用意し、バイヤーに提供。また、どぶろくも試飲用を用意。
- ・実施成果 ディップソース 多くのバイヤーに試食頂いた。

		<p style="text-align: right;">どぶろく 多くのバイヤーに試飲頂いた。</p> <p>②海外販売</p> <p>ア 遠野・台湾スーパーマーケット商談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日（会場） 11月10日（遠野） ・実施内容 新商品わさびディップソースの試食用サンプルを10個用意し、バイヤーに提供。また、どぶろくも試飲用を用意。 ・実施成果 ディップソース 参加事業者の担当者に試食頂いた。 <p style="text-align: right;">どぶろく 参加事業者である台湾（台中市）の高級スーパー「裕毛屋」の社長及び担当者に試飲頂き、商談が成立。平成29年2月から現地での販売が開始された。</p> <p style="text-align: right;">なお、平成15年のどぶろく特区認定以来、初めての輸出につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他 ディップソースについては、食品添加物を無くすべきとの意見を頂いた。
--	--	---

注1：年度別事業概要欄に、年度別（当年4月から翌年3月まで）の事業概要を記入します。また、事業実施後は、実施年度ごとに実績欄に取組実績を記入します。

注2：複数年度にわたる事業計画を立てる場合にあっては、適宜欄を追加して記載します。

【参考】事業計画全体における実績

単位：千円

事業年度	事業に要する経費 (A) + (B)	交付金 (A)	自己負担金 (B)
平成28年度	234	117	117

注1：複数年度にわたる事業計画を立てる場合にあっては、適宜欄を追加して記載します。

注2：事業実施後は、実施年度ごとに実績額を記入します。

ウ 平成 28 年度の事業計画（又は事業実績）

(ア) 事業実施内容及び実施時期

実施時期	実施内容	
	計 画	実 績
第 1 四半期 (4～6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・わさびディップソースの商品試作 ・わさびディップソースのパッケージデザイン制作 	
第 2 四半期 (7～9月)	<ul style="list-style-type: none"> ・商談会等に出展（1回） ・わさびディップソースの改良 	<ul style="list-style-type: none"> ・わさびディップソースの商品試作  <ul style="list-style-type: none"> ・わさびディップソースのパッケージデザイン制作 ・商談会に出展（1回） <p>8/24 岩手食の大商談会（盛岡）</p> 

第3 四半期
(10~12月)

- ・販売開始イベント（道の駅遠野風の丘）
- ・商談会に出展（2回）
- ・消費者評価会（遠野、東京、横浜及び愛知）

- ・わさびディップソースの改良
…味の改良（わさびの風味を強くした）を行った。
- ・商談会に出展（2回）

11/ 2 岩手食の大商談会 in 東京（東京）



11/10 遠野・台湾スーパーマーケット商談会（遠野）



- ・消費者評価会（3回）

9/30~10/16 神奈川県横浜市「オクトーバーフェスタ」



10/8~9 遠野市産業まつり（遠野）



10/29~10/30 愛知県大府市 「大府市産業文化まつり」



11/13 東京都武蔵野市「むさしの青空市」



<p>第4四半期 (1～3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どべっこまつり開催 (自費) ・商談会に出展 (1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・どべっこまつり開催 (自費)  <ul style="list-style-type: none"> ・商談会に出展 (1回) <p>2/1 岩手食の商談会 in 仙台 (仙台)</p> 
-------------------------	---	---

注1：複数回実施する場合は、概要を記入します。

注2：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。


(イ) 主要原料の取引を行う農林漁業者等の概要

農林漁業者等	所在地	対象農林水産物	作付面積等	出荷量	販売額
遠野わさび生産者 協議会のわさび 生産者	岩手県遠野市宮守町達曾部	わさび	(ha) 3.0	(ト) 6.0	(百万円) 30
菊池進 (上郷町農産物直 売組合)	岩手県遠野市上郷町平倉	玉ねぎ	0.5	—	—
一般社団法人 遠野ふるさと公社	岩手県遠野市綾織町	米 (どぶろくの原料は、構造改革特区で 自ら生産した米に限られている。)	0.3	0.2	7

注：直近年度の作付面積等、出荷量、販売額等を記入します。

(ウ) 開発した商品の状況

a 開発する新商品名（仮称を含む）及び概要

新商品名	概要	計画	実績
わさびディップソース	遠野宮守わさびと、遠野産玉ねぎを原料にしたソース。 野菜や揚げ物などに浸して食べられる。	試作品の開発（4月～6月） 試供品製造（500個） 試作品の改良（7月～9月） 商談会への出展（7月～2月） 消費者評価会（10月～11月） 販売開始（10月～2月）	試作品の開発（7月） 試作品の改良（9月） 試供品製造（500個） 商談会への出展（8月～2月） 消費者評価会（10月～11月） 販売開始（12月～2月） 

注1：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。

注2：試作品の改良や分析を複数回実施する場合は、計画欄（実施報告時は実績欄）にその旨を記載します（3回まで）。

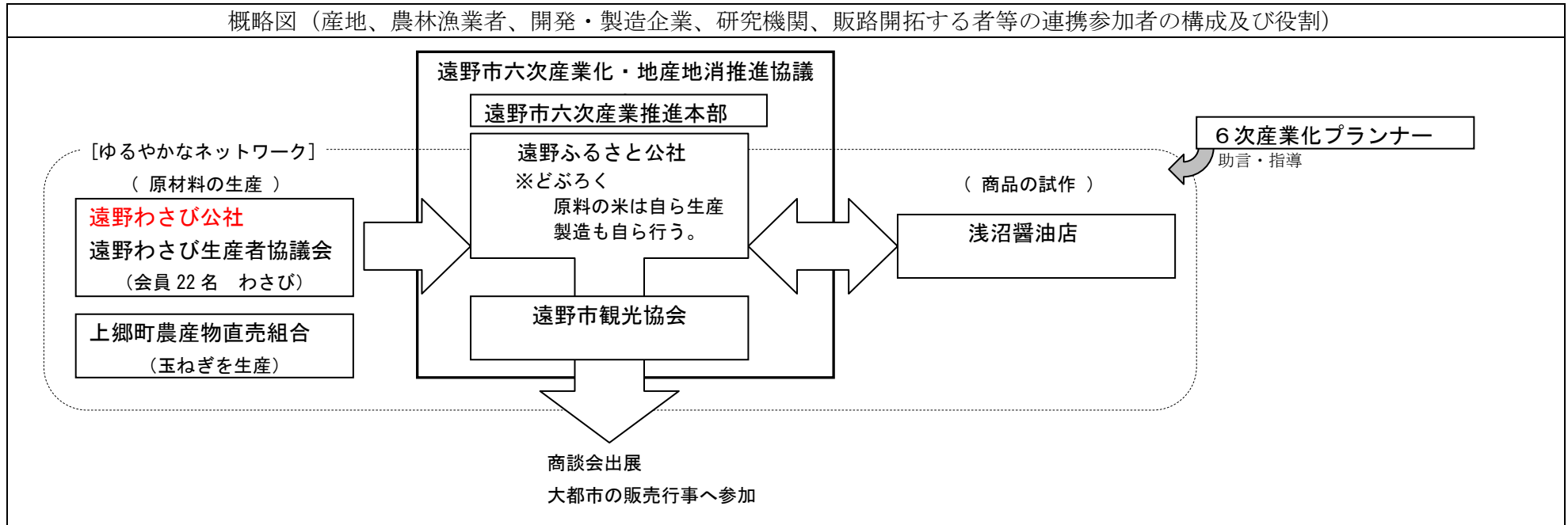
b 開発する新商品に関する検討状況

	検討状況	実績
仕入れ先の確保の状況	わさび…遠野わさび生産者協議会と協議中。 タマネギ…遠野市産直連絡協議会を通じて、上郷町農産物直売所（菊池進組合長）と協議中。	わさび…遠野わさび生産者協議会を通じて、遠野わさび公社から仕入れを確保 タマネギ…遠野市産直連絡協議会を通じて、上郷町農産物直売所（菊池進組合長）から仕入れを確保。
製造過程における技術的課題	ディップソースの試作…浅沼醤油店と協議中。 商品を詰める容器の選定が課題。	ディップソースの試作…浅沼醤油店で試作を行った際、パウチタイプの容器の場合、固形分と油分の分離が見られ、この課題解消に至らなかった。 そこで今回は、瓶詰めタイプの容器を採用した。
販売価格の設定及びその考え方	現在の想定としては、600円～800円を想定中。	800円/個（税抜）で設定した。 瓶詰容器の採用に伴い、少し贅沢なソースをコンセプトに価格を設定した。
事業の実施体制	遠野ふるさと公社を中心に、事業の進行管理を行う。 原材料 遠野わさび生産者協議会 上郷町農産物直売組合 加工製造 浅沼醤油店 販路拡大 遠野ふるさと公社	遠野ふるさと公社が、事業の進行管理を行った。 原材料 遠野わさび生産者協議会 上郷町農産物直売組合 加工製造 浅沼醤油店 販路拡大 遠野ふるさと公社
その他		

注1：検討状況欄には、計画策定時の検討状況を記入します。

注2：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。

(エ) 開発・製造・販路開拓等の実施に係る連携体制



注：連携に参加する農林漁業者・民間事業者等の名称及び役割を明記します。

開発、市場評価、販路開拓等に参画するスタッフの所属・役職名			
(市場評価・販路開拓)			
遠野ふるさと公社	物産統括	佐々木教彦	→市場評価、販路開拓を担当
	加工部長	松本知広	→商品開発を担当
遠野市観光協会	事務局長	運萬勇	→遠野市の観光PR
(開発)			
浅沼醤油店	代表取締役	浅沼宏一	→商品開発に参画
(コーディネーター)			
パイロットフィッシュ		五日市知香	→開発のコーディネートを担当
遠野市六次産業推進チーム		永田裕	→事業推進の進行管理

(オ) 新商品開発の実施

a 試作品の製造に関する資材の購入の内訳

資材名	購入量	備考
瓶、包装材	試作500個分	
わさび	1kg	
タマネギ	10kg	
その他（油脂、水あめ、豆乳、酢、醤油）		

b 成分分析の実施

実施時期	分析の種類・品目	実施場所	備考

注：開発商品の衛生、安全性、成分等を検査するための分析について記入します。

(カ) 消費者評価会の実施

	実施時期	実施内容	実施場所	対象者	試供品の作成・提供数
計画	平成 28 年 10 月	遠野市産業まつりに併せて、新商品の評価会を実施	遠野市内 (産業まつり会場)	遠野市民等産業まつり来場者	50 個
	平成 28 年 10 月	オータムフェスタ出展に合わせて、消費者評価会を実施	神奈川県横浜市内 (オータムフェスタ)	遠野市民等産業まつり来場者	100 個
	平成 28 年 10 月	友好市町村の集客行事に合わせて、ブースを設けながら新商品の評価会を実施	愛知県大府市	大府市民等来場者	50 個
	平成 28 年 11 月	友好市町村の集客行事に合わせて、ブースを設けながら新商品の評価会を実施	東京都武蔵野市	武蔵野市民等来場者	50 個
実績	平成 28 年 10 月	遠野市産業まつりに併せて、新商品の評価会を実施	遠野市内 (産業まつり会場)	遠野市産業まつり来場者	50 個
	平成 28 年 10 月	横浜赤レンガ倉庫オータムフェスタに出展し、ウィナーに添えるソースとして消費者評価会を実施	神奈川県横浜市内 (オータムフェスタ)	オータムフェスタ来場者	100 個
	平成 28 年 10 月	大府市産業文化まつりに出展し、新商品の評価会を実施	愛知県大府市	大府市民等来場者	50 個
	平成 28 年 11 月	武蔵野あおぞら市に出展し、新商品の評価会を実施	東京都武蔵野市	武蔵野市民等来場者	50 個

注：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。

(キ) 販路開拓の実施
商談会等への出展

	実施時期	開催名称	開催内容	開催場所	来場対象者	試供品の 作成・提供数
計画	8月	商談会	岩手県主催の商談会	盛岡	3,000人	100個
	10月	商談会	海外輸出推進組織主催の商談会	遠野	50人	10個
	11月	商談会	岩手県主催の商談会	東京	500人	70個
	2月	商談会	岩手県主催の商談会	仙台	500人	70個
実績	8月24日	商談会	いわて食の大商談会	盛岡	3,000人	100個
	11月2日	商談会	いわて食の大商談会 in 東京	東京	500人	70個
	11月10日	商談会	遠野・台湾スーパーマーケット商談会	遠野	50人	10個
	2月1日	商談会	いわて食の商談会 in 仙台	仙台	500人	70個

注：実績欄には、事業実施後に取組実績を記入します。

(ク) 主要原料取引計画及び売上計画
a 主要原料取引計画の概要

主要原材料名	(平成29年)		
	原料使用量 (トン)	うち契約取引数量 (トン)	相手先
(どぶろく) 米	0.2	—	構造改革特区における濁酒製造事業のため、自ら生産した米を原料にしている。
(わさびディップソース) わさび	0.1	0.1	遠野わさび生産者協議会 (生産者は、協議中)
玉ねぎ	0.1	0.1	上郷町農産物直売組合 菊池 進

注1：翌年度からの計画を、年度別（当年4月から翌年3月まで）に記入します。

注2：複数年度にわたる事業計画を立てる場合にあっては、適宜欄を追加して記載します。

b 売上計画の概要

製品名	販売先	初年度 (平成 29 年)a	第 2 年度 (平成 30 年)	第 3 年度 (平成 31 年)b	b/a
		千円	千円	千円	%
どぶろく	(小売及び商談会で開拓)	9,000	10,000	11,000	122
わさびディップソース	(小売及び商談会で開拓)	450	500	600	133
計		9,450	10,500	11,600	122

注：翌年度からの計画を、年度別（当年4月から翌年3月まで）に記入します。

③ (省略)

④ (省略)

⑤ (省略)

⑥ (省略)

(5) 成果目標

① バリューシステムに係る取組（実需者・消費者等へ商品価値の提示を行う取組等）

どぶろくについては、『遠野物語』をはじめとする遠野の観光資源とともに農村文化と特区限定の希少さを商品価値として商談会に参加するバイヤーへの提案活動を実施する。

また、わさびディップソースについては、東北一の根わさびの産地ならではの、わさびの辛味と、浸して使用する新しいソースの食べ方のスタイルをバイヤーや消費者に向けた提案活動を実施する。

注：別紙を添付してもよいです。

② イノベーションに係る取組（販路、価値、生産、原材料、組織の5つの分野で新結合を行う取組）

どぶろくについては、カシスやりんご、ぶどうなど組み合わせた新しいタイプの商品を用意し、原材料の分野での結合に試みるほか、どぶろくを知らない若い世代を対象に新たな購買層の獲得を目指した販路を見出したい。

わさびのディップソースは、これまで連携がなかった遠野わさび生産者協議会と遠野ふるさと公社による初めての連携による組織面での新結合を図る。また、遠野市内でディップソースを加工製造できる事業者が無いため、六次産業化プランナーの助言のもと、岩手県内の醤油店とも連携し、生産面で広域的な連携を図るほか、地域特産のわさびを材料に使用することにより、わさびの新たな付加価値を高める取り組みとしたい。

注：別紙を添付してもよいです。

③ 地域経済への波及効果を及ぼす取組（競合商品・競合先がなく、地域経済（雇用創出、農林水産業振興、関連産業振興）への波及効果を及ぼす取組）

どぶろくは、構造改革特区の認定を受けた地域でしか製造ができず、国内でも競合相手が限定される商品であるため、競合が少ない。

どぶろくと遠野の観光イメージとを組み合わせたPR活動を行い、どぶろくの売上額の増加と、観光面（どべっこまつりの入込数）への波及を期待する。

わさびのディップソースについても、ディップソース自体が国内ではあまり流通されていない商品である上、新しい食のスタイルの提案として競合商品が少ない。

また、遠野産わさびを使用した商品開発の取り組みの実施により、原料となるわさびの生産拡大に結び付けたい。

注：別紙を添付してもよいです。

(6) 行政施策等との関連性等

該当する項目にチェックを入れて下さい。

① 市町村戦略に基づいて行う取組ですか。

該当します 該当しません

② 事業実施主体の所在する市町村で、「地産地消促進計画」を策定していますか（新商品開発・販路開拓の実施の場合、事業実施主体の所在する市町村で策定した「地産地消促進計画」に則した取組ですか。）

該当します 該当しません

③ 事業実施主体の所在する場所が、「人・農地プラン」の策定されている地域ですか。（新商品開発・販路開拓の実施の場合、事業実施主体が「人・農地プラン」の中心経営体に位置付けられていますか。）

該当します 該当しません

④ 商品の製造工程においてH A C C P（高度化基盤整備を含む）を取り入れています（又は取り入れる見込があります）か。

該当します 該当しません

⑤ 和食などを軸とする観光・食文化政策の展開に資する取組ですか。

該当します 該当しません

⑥ 地域再生法に基づき、内閣総理大臣から認定された地域再生計画に位置づけられた取組ですか。

該当します 該当しません

(7) 平成 28 年度 6 次産業化ネットワーク活動交付金事業費積算書（推進事業）

団体名：遠野市六次産業化・地産地消推進協議会

区分	平成 28 年度事業費			備考（員数等の根拠等）
	員数	単価	金額	
		円	円	
(1) 新商品開発 わさびディップソース ・開発手当	試作開発	108,000	108,000	試作開発委託料 100,000 円×1.08
・資材購入費	わさび 1 k g	8,000	8,000	わさび 8,000 円×1 kg
	玉ねぎ 1 0 k g	200	2,000	タマネギ 200 円×10kg
	その他（瓶、蓋）	37,260	37,260	瓶・包装資材 69 円×500 個×1.08
(2) 販路開拓の実施 ・販路開拓費	商談会 4 回	18,750	75,000	出展費用 25,000 円+15,000 円+20,000 円+15,000 円
	消費者評価会 1 回	4,000	4,000	会場借料 4,000 円×1 回 4 回中 1 回分のみ
合計			234,260	
交付金額			117,000	該当なし

注：交付金額の備考欄には、仕入れに係る消費税相当額について、これを減額した場合には「除税額〇〇〇円うち国費〇〇〇円」を、同税額がない場合には「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含税額」と記入して下さい。